

平成 30 年度 (2018 年度) 神戸山手大学
職業実践力育成プログラム
(Brush up Program for professional)

観光庁 平成 30 年度
「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」

ツーリズムプロデューサー 養成課程

事業報告書 2018.9.22 ▶ 2019.2.12





はじめに



神戸山手大学副学長
ツーリズムプロデューサー
養成課程責任者

小野田金司

訪日外国人客数も 2018 年 3,000 万人を超え、2020 年の目標数 4,000 万人をクリアする勢いで順調に伸びています。いよいよ 2019 年からは、ゴールデンスポーツイヤーがスタートします。2025 年の大阪・関西万博の開催も決定し、IR（統合型リゾート）の大阪への誘致も可能性が高くなってきました。関西が日本の観光をリードすることが確実にできてきています。

このように観光が成長産業と期待される中、その中核となる人材は明らかに不足しています。新しいインバウンド市場にも対応ができ、地域の観光に必要なマーケティング、マネジメント能力を備えた人材が必要とされています。

この「ツーリズムプロデューサー養成課程」は、このような観光産業、DMO などのニーズに対応した社会人用のプログラムです。日本の観光立国を実現する中核人材が、このプログラムから数多く輩出できることを願っています。

目次

- はじめに 01
- ツーリズムプロデューサー養成課程 03
- 平成30年度 実績一覧 04
- 平成30年度 カリキュラム 05
- 受講生アンケート 08
- 受講生の声 09
- 講師一覧 10
- 講師の声 11
- 事業報告会—観光立国フォーラム 2018— 12

神戸山手大学は、文部科学省による平成 28 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業（観光分野）、平成 29 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」（観光分野）において、「訪日外国人観光客 4000 万人時代に備えたインバウンド中核人材養成事業」を提案・受託しました。

平成 28（2016）年度は、①連携企業・団体の協力を得て、インバウンドビジネスに興味関心をもつ社会人を対象に、インバウンド人材育成プログラム「神戸山手インバウンドスクール」の実証講義を展開するとともに、②日本版 DMO 候補団体の考える人材ニーズとインバウンド市場をすでに取り扱う事業者が求める人材ニーズの比較調査を実施しました。

平成 29（2017）年度は、これらの成果を踏まえてカリキュラムを修正し、「神戸山手インバウンドスクール」として東京と神戸の 2 会場で9ヶ月間開催、履修証明プログラムを提供しました。

職業実践力育成プログラムとは

(Brush up Program for professional)

職業実践力育成プログラムとは教育再生実行会議「『学び続ける』社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について（第六次提言）」（平成 27 年 3 月）を受けて、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」（BP）として文部科学大臣が認定する制度のことです。

本学では実務経験を備えた即戦力となる観光人材として「ツーリズムプロデューサー」を養成し、受講生と企業、DMO等の適性をふまえた人材マッチングを支援することで、観光市場の担い手を育成・輩出し、地方創生及び観光立国に貢献することを目的とし、本カリキュラムを作成・申請し認定を受けました。



産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業

観光庁では、観光産業を我が国の成長に資する基幹産業とし、さらに高いレベルの観光立国を目指すために、観光産業の担い手を「観光産業をリードするトップレベルの経営人材」から「観光の中核を担う人材」、さらには「即戦力となる地域の実践的な観光人材」に分類し、人材育成の取組強化の支援をしています。本事業は、全国 10 大学において、地域の観光産業の強化・発展を推し進める中核人材を育成・強化し、地域の観光産業の経営力・生産性向上を目指すものです。

本年度、本学のツーリズムプロデューサー養成課程講座もその採択を受けることとなり、地域観光業従事者（特に旅行業・宿泊業・DMO・DMC）の人材育成を目的としたカリキュラムを無料で提供しました。

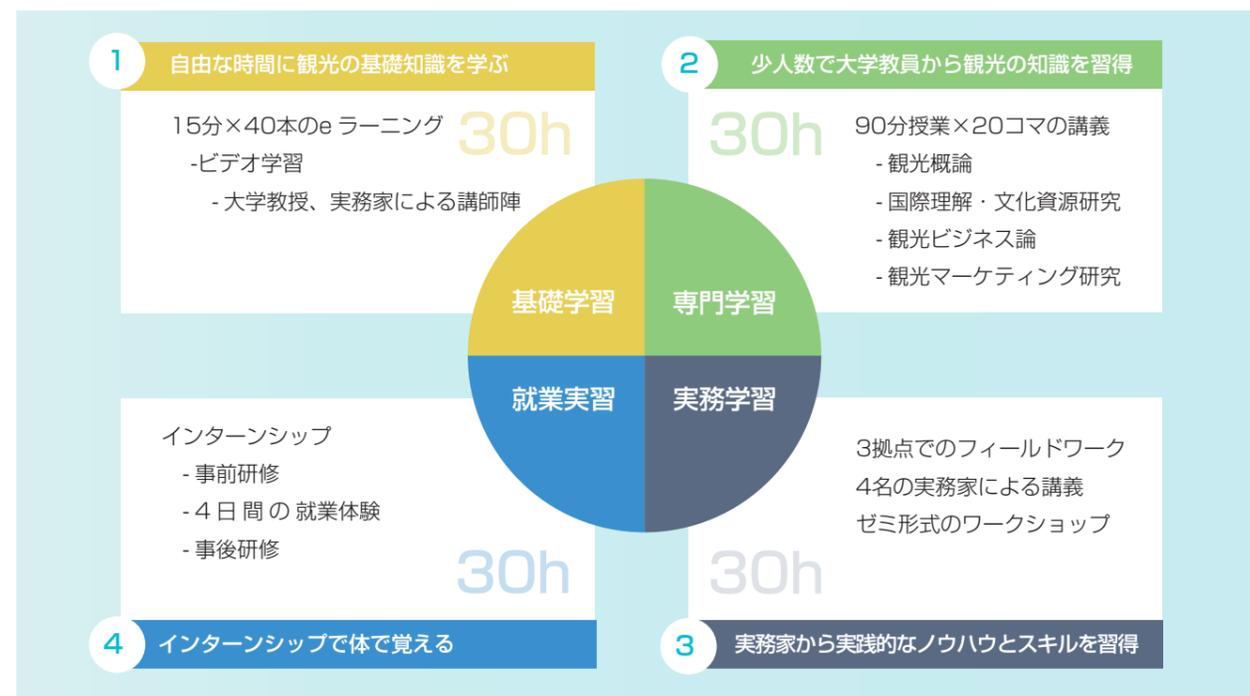
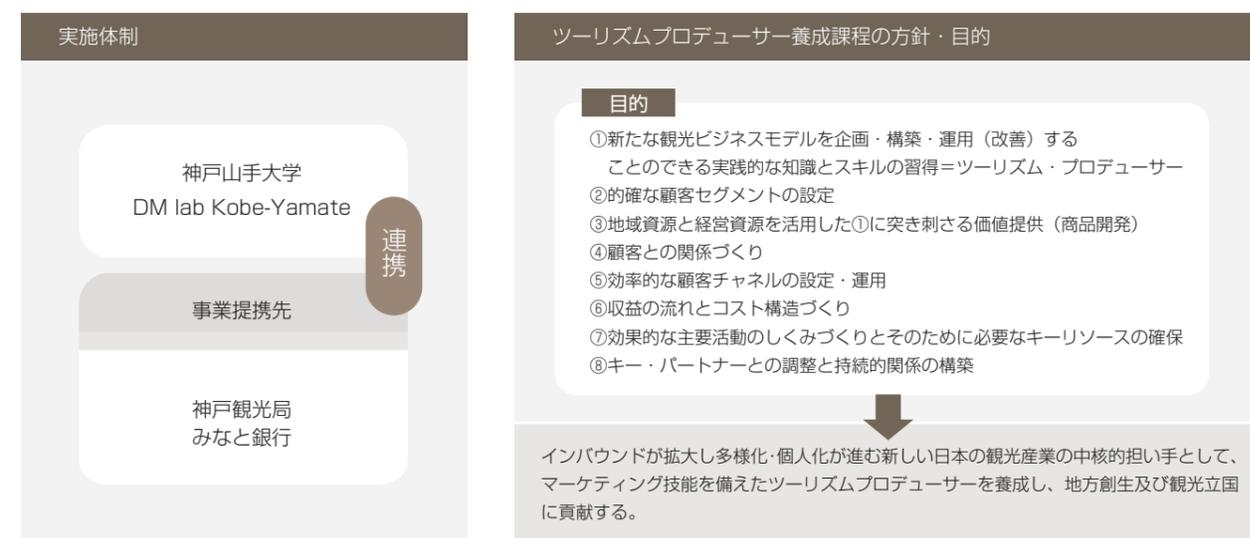


ツーリズムプロデューサー養成課程

ツーリズムプロデューサー養成課程は、新たな観光ビジネスモデルを企画・構築・運用（改善）できる実践的な知識とスキルの習得＝ツーリズムプロデューサーとしての力を身につける認定講座です。対象者は、急成長する観光業に携わる方、またはこれから参画を考えている社会人の方となります。

背景として、2020 年に東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、インバウンド（訪日外国人）が急増し、急成長する観光業（団体旅行から個人旅行への変化（FIT 化）の進行や、旅行業法改正によるランドオペレーター登録制度の開始等）の変化に伴い、新たなマーケットへの対応の必要性が高まり、特に、日本の地方の魅力を世界に提供できる着地型観光商品の開発が重要となっている現状があります。

本学では株式会社 BUZZPORT と共同設立した DM Lab Kobe-Yamate を中心に、神戸観光局・兵庫県・日本インバウンド連合会・神戸商工会議所・みなと銀行と連携し、事業への助言や講義講演への出講でご協力頂きながら本課程を実施しました。



平成 30 年度実績

平成 30 年度は「神戸山手インバウンドスクール」から「ツーリズムプロデューサー養成課程」へと名称変更し、受講の形式も各日申し込み制から、コース制へと変更しました。

目標受講者数を当初 20 名としましたが、申込者が多く最終 24 名に拡大して、コースをスタートしました。うち、18 名の受講生が全カリキュラムを履修し、履修証明書を受理しました。

また履修証明書コースの他、定員に空きのある一部の講義のみ受講可能な選択・実務コース（4 名）、特別セッションのみ受講可能な聴講コース（各日自由申込み、述べ参加者 30 名）を設けました。

受講生概要 (履修証明書取得コース)

性別	エリア	年齢	業種
男性	兵庫県内	20代	・ホテル、旅館、宿泊施設 ・DMO ・官公庁 ・小売 ・旅行業 ・レジャー関連 など
女性	兵庫県外	30代	
	・大阪	40代	
	・和歌山	50代	
	・京都	60代	
	・鳥取		
	・徳島		

目標受講者数	20 人
履修証明書コース KPI 達成率	24 人 120%
選択・実務コース	4 人
聴講コース (延べ人数)	30 人
履修証明書取得者	18 人

平成 30 年度 カリキュラム

カリキュラムは基礎学習、専門学習、実務学習、就業実習の4つから構成しています。学習時間は1時限基本 90 分、全 120 時間になります。履修証明には全科目が必修となりますが、収録した講義動画の視聴・レポート提出をもって補講とするなど、欠席者の対応も行なっています。(一部の講義を除く)

カリキュラム

	日程	授業内容 (仮題)	担当教員 (敬称略)	時間	
基礎学習		eラーニング		30h	
専門学習	9/22(土)	1 観光産業における人材育成	田村 寿浩 (観光庁観光産業課専事官)	1.5h	
		2 ツーリズムプロデューサーという仕事	江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授)	1.5h	
		3 急成長するインバウンド観光市場の現況	小野田 金司 (神戸山手大学教授)	1.5h	
		4 観光人材に求められる知識・スキル	小槻 文洋 (神戸山手大学准教授)	1.5h	
		5 特別セッション「関西の大観光プラン! IRと万博の最新情報」	小野田 金司 (神戸山手大学教授) 江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授) 森山 正 (神戸山手大学客員教授)	1.5h	
	9/29(土)	1 2003年「観光立国」宣言から15年、激変した日本の観光とツーリズムプロデューサー	小畑 力人 (神戸山手大学客員教授)	1.5h	
		2 NPS (ネット・モニター・スコア) とコグニティブ・顧客の特性と人材適性からの顧客マーケティング	森山 正 (神戸山手大学客員教授)	1.5h	
		3 新しい観光ビジネスの現状と課題	小野田 金司 (神戸山手大学教授)	1.5h	
		4 ムスリム・フレンドリー・ツーリズム (ハラール・ツーリズム)	小磯 学 (神戸山手大学教授)	1.5h	
		5 特別セッション「道頓堀のスーパーガイド」	小野田 金司 (神戸山手大学教授) 畑中 綾 (株式会社インブリージョン)	1.5h	
	10/6(土)	1 イタリアのアグリツーリズムにみる農山村の可能性	高根沢 均 (神戸山手大学准教授)	1.5h	
		2 実践的マーケティング演習	吉田 誠 (神戸山手大学教授)	4.5h	
		3 特別セッション「DMOと宿泊ビジネスの成功モデルを考える」	小野田 金司 (神戸山手大学教授) 江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授)	1.5h	
	就業実習	10/13(土)	1 事前研修・マッチング	小野田 金司 (神戸山手大学教授)	1h
	10/20(土)	1 神戸・兵庫における着地型ヘルスツーリズムの可能性「アウトドアスポーツ」×「ツーリズム」	西村 典芳 (神戸山手大学教授)	1.5h	
2 スポーツツーリズムの推進による地域活性化		西村 典芳 (神戸山手大学教授)	1.5h		
3 地場産業と観光振興		山下 紗矢佳 (神戸山手大学講師)	1.5h		
4 旅行者行動論		田中 祥司 (摂南大学准教授)	1.5h		
5 特別セッション「民泊新法やOTAは宿泊ビジネスに革命を起こすか?」		小野田 金司 (神戸山手大学教授) 江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授) 長田 英和 (Airbnb Japan 株式会社)	1.5h		
フィールドワーク					
	10/27(土)	京都: ワックジャパン 視察、体験、レクチャー 富裕層マーケットの獲得ノウハウを学ぶ	小川 美知 (有限会社ワックジャパン)	5h	
	11/3(土)	大阪ミナミ: インブリージョン フィールドワーク 年間40万人集客ノウハウを学ぶ	畑中 綾 (株式会社インブリージョン)	5h	
	11/10(土)	京都: FUJITAYA フィールドワーク ゲストハウス運営のノウハウを学ぶ	藤田 勝光 (株式会社 Feel Japan)	5h	
実務家によるレクチャー					
実務学習	11/17(土)	1 観光ファンド事例	川上 和也、河田 健人 (株みなと銀行) 白井 孔耶 ((株) 瀬戸内アラウンド・コネクション)	1.5h	
		2 facebook 集客	道越 万由子 (株式会社ビヨンド)	1.5h	
		3 古民家再生事業ノウハウ	井澤 一清 (株式会社ちいおりアライアンス)	1.5h	
		4 シェアリングエコノミー	江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授)	1.5h	
		5 特別セッション「観光業界に変革をもたらすシェアビジネス」	小野田 金司 (神戸山手大学教授) 江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授) 岩田 行雄 (handy ジャパン株式会社)	1.5h	
ゼミナール					
	11/24(土) または 12/1(土)	ゼミナール (PBL型ワークショップ) 10名ずつの少人数ゼミ。各受講生は講師の指導を受けながら、職場における新規事業開発・観光市場における起業のプロデュース計画をまとめる	江藤 誠晃 (神戸山手大学客員教授)	7.5h	
就業実習	10/14~1/18	就業実習	神戸・元町インバウンド協議会 株式会社ビヨンド 六甲山観光 など	27h	
	1/19(土)	事後研修 (就業体験発表会)	小野田 金司 (神戸山手大学教授)	2h	

平成 28 年度実績

平成 28 年度、神戸山手インバウンドスクールは延べ受講者数 855 名、KPI 達成率は 342.2%に達しました。

神戸・大阪での開講に加え、サテライト講義として全国 6 箇所 (東京、鳥取、和歌山、兵庫 (南淡路、姫路、長野) で実施しました。

目標受講者数 (延べ人数)	250 人
実際の受講者 (延べ人数)	855 人
KPI 達成率	342.2%

平成 29 年度実績

平成 29 年度、神戸山手インバウンドスクールはのべ受講者数 911 名、KPI 達成率は 364%となりました。

神戸会場は神戸山手大学にて、東京会場は三幸学園様と全日本情報学習振興協会様にご協力をいただき開催いたしました。8 月 19 日より 11 月 11 日まで、専門学習と実務学習のプログラムを実施しました。その後、特に関心の高かった業法改正の講義は、観光庁より神戸までお越しいただき、特別講演会を 12 月に開催しました。就業体験は、事前研修を 10 月 28 日に開催し、受講生が企業とマッチングを行い実施しました。約半年の間受講生の皆様は、熱心に履修いただきました。

eラーニング受講生	327
神戸会場受講生	190
東京会場受講生	302
特別講演会	92
合計 (延べ人数)	911
KPI 目標 (延べ人数)	250
KPI 達成率 (%)	364

平成30年度カリキュラム

基礎学習

基礎学習は1本15分、全40本から構成される動画形式のeラーニングです。講義のポイントをまとめたもので、予習や復習として学習します。



基礎学習	
インバウンド観光とは インバウンド観光のトレンド 観光立国日本 インバウンド観光外客免税制度改正 事例紹介 ジャパンエキスポ南紀熊野体験博 事例 サンティアゴの巡礼道の観光システム 観光マーケティング論 地域と顧客の絆をつくろう 観光マーケティング論 地域の魅力を世界に発信 インバウンド観光におけるWeb基礎 (講師：小野田金司/神戸山手大学)	みなとまち観光論Ⅲ 神戸・灘の酒造業～時代の変化を乗り越えてきた伝統産業～ 観光教育の新展開 全国高等学校観光選手権大会で高校生のアイデアを形にする インバウンド業界 人材育成の必要性1 インバウンド業界 人材育成の必要性2 (講師：小槻文洋/神戸山手大学) イスラーム教徒インバウンドハラル・ツーリズム/ムスリム・フレンドリー・ツーリズム 神戸・北野町の宗教施設～そのディープな魅力を探る (講師：小磯学/神戸山手大学) インバウンド人材育成と地方創生 (講師：伊藤健二/明治学院大学) 着地型商品の企画造成 (講師：富澤美津男/KNT-CTホールディングス株式会社) これからの民泊ビジネスについて (講師：三口聡之介/株式会社百戦錬磨)
旅行者行動論1 旅行者行動論2 (講師：田中祥司/摂南大学)	大阪・道頓堀 インバウンドガイドの心得 大阪・道頓堀 インバウンドNOW (講師：オダギリサトシ/株式会社インプリージョン)
観光マーケティングの基礎 テーマパーク (USJ)のマーケティング事例 (講師：森山正/神戸山手大学)	六甲山におけるインバウンド誘致について (講師：小林智美/六甲山観光株式会社) インバウンド接遇 (講師：藤沢礼子/株式会社ツールース)
レベニュー・マネジメント① レベニュー・マネジメント② 和歌山県田辺市本宮町のインバウンド観光振興 (講師：大島 知典/阪南大学)	みなとまち観光論Ⅰ 神戸とファッション 洋装文化を通じて見る神戸の現代 (講師：伊多波宗周/京都外国語大学) インバウンド概論：前編 (講師：村山慶輔/株式会社やまごころ) インバウンド概論：後編 (講師：村山慶輔/株式会社やまごころ)
スノーリゾートのインバウンド戦略 スポーツツーリズムで地域活性化 ヘルスツーリズムで地域活性化 (講師：西村典芳/神戸山手大学)	神戸国際観光コンベンション協会のMICE取組概要 (講師：渡邊光/神戸国際観光コンベンション協会) 来日前からのSNSを活用したインバウンド情報発信・コミュニケーション戦略 (株式会社ビヨンド) ゲストハウスについて (FUJITAYA Kyotoの事例)
高野山インバウンド観光の現状 (講師：原一樹/京都外国語大学)	ショッピングツーリズムとは (講師：新津研一/一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム)

専門学習

専門学習は大学教授をはじめとする観光分野の専門家を講師に招いて行う講義です。基礎学習を深め、様々な事例や観光知識について学びます。大テーマとして観光概論、国際理解・文化資源研究、観光ビジネス論、観光マーケティング研究の4つから構成しました。また、本年度は毎回最終コマを特別セッションとし、ゲストを招いてトーク形式の講義を行いました。特別セッションは観光分野の知識を幅広い方に知っていただき、考える場となるよう、聴講として受講生以外も参加できるようにしました。



実務学習

実務学習は、実務家を招いての講義、フィールドワーク、ゼミナールの3形式で学習します。フィールドワークでは、京都・大阪のフィールドで日本文化体験、ゲストハウス、ガイドの3分野で学びました。

フィールドワーク



(京都・日本文化体験)
ワックジャパン



(京都・ゲストハウス)
FUJITAYA BnB



(大阪・ガイド)
インプリージョン

ゼミナール

ゼミナールは、本プログラムチーフディレクターである江藤誠晃客員教授を講師におき、数名のチームに分けて観光事業計画を策定する能力を身につけます。全講義を通じてツーリズムプロデューサーとしての考え方を学びながらフィードバックを繰り返すことで、実践的でリアリティの高い課題解決能力を身につけます。



就業実習

就業実習では、受け入れ先企業の中から関心の高い就業先を選んで就業体験に取り組みます。学習プログラムで学んだ成果を元実践することで、自分の特性を知ったり、現場での課題や気づきを深めます。事前事後研修を開催し、体験結果をフィードバックしました。

インターン受け入れ先

一般財団法人神戸観光局/株式会社ビヨンド/神戸・元町インバウンド協議会/六甲山観光株式会社/公益社団法人ひょうごツーリズム協会/那智勝浦町



神戸・元町インバウンド協議会



ビヨンド



六甲山観光

受講生アンケート

1. (受講開始時に就業していた方のみ)

講座の受講の効果として、どのようなものがある(あった)と思いますか。最も当てはまるものを1つだけ選んで下さい。

■ 社内外の評価が高まる	4
■ 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3
■ 円滑な転職に役立つ	3
■ 趣味・教養に役立つ	2
■ 配置転換等により希望の業務に従事できる	1
■ その他の効果	1
■ 特に効果はない	0

2. (受講開始時に就業していなかった方のみ)

講座の受講の効果として、どのようなものがある(あった)と思いますか。最も当てはまるものを1つだけ選んで下さい。

■ 希望の職種・業界で就職できる	3
■ 趣味・教養に役立つ	1
■ その他の効果	1
■ 早期に就職できる	0
■ より良い条件(賃金等)で就職できる	0
■ 特に効果はない	0

3. 講座の受講開始後、転職または就職(独立開業を含む)を予定していますか。

■ 独立開業を予定している	8
■ 転職または就職を予定している	3
■ 予定していない	3

4. 受講後、どのような分野での活躍を予定しているか

- ・社内での新規事業立ち上げ
- ・ゲストハウス経営
- ・キャンプ場開発、観光分野のサポート
- ・マーケティング分野でのコンサルタント
- ・商品開発
- ・観光プロデュース(抜粋)

5. 受講した講座の教材、カリキュラム、指導内容等は、ご自身の期待した能力の習得(例 目標資格の取得)に役立つものとして満足できましたか。一つ選んでください。

■ 大変満足	11
■ おおむね満足	3
■ どちらとも言えない	1
■ やや不満	0
■ 大いに不満	0

6. 本講義の中で改善が必要だと感じる講義がありましたら、理由もあわせてお書きください。

- ・インター先の選定とコーディネートは、もう少しサポートが欲しかった。
- ・目的がばらばらな人を集めると、フットワークや熱量に差が大きく出てしまい、全体的にモチベーション低下にもつながってしまうところもあると思いました。
- ・チームごとの話し合いの時間が登校日に合わせてあるとよかった。

7. 本講義の中で最も学習効果があったと感じる講義はどれか、理由もあわせてお書きください。

- ・江藤ゼミ。三角思考、6W2Hなど学びが多かった
- ・データを基にした授業、全く知らなかった事がたくさんあり、データがあることによってその現象等を理解しやすかった。
- ・フィールドワークは実際に足を運んで、知識と体験を組み合わせられたので、得るものが多かったです。
- ・実践的ビジネスモデリング：とても実践的な話、アプローチを学べた
- ・就業体験で自ら行い、フィールドワークをすることでの気づきが多かった

受講生の声



師に学び、友と語った
120時間

旅行会社勤務 勝 崇子さん

旅行店頭販売を取り巻く環境が、アウトバウンドからインバウンドへと流れが大きく変わり、再び若年層の海外回帰の兆しもある中、根本から現在の観光・旅行業を学びたいと思い受講しました。専門学習期間は理論的に観光を学ぶことができ、実務を中心に仕事をしてきた私には、目から鱗の連続で、個性ある講師陣のユニークな講義に毎回引き込まれました。実務学習としては、実務家のレクチャーや熱い現場を生で体験しました。ゼミのメンバーと課題についてとことん語り、観光市場での起業をプロデュースする訓練ができたことは、私達にとって大変価値ある経験となりました。

profile

お客様の大切な夢を叶えるため、一緒にプランを考え、喜びを分かち合える旅の応援団として日々奮闘中。今春よりJR WEST RAIL PASS 店頭販売に伴い、ぜひ本講座で学んだ事を生かし提案できればと思います。



講義・フィールドワークを通じた実践的アウトプットを促す

ホテル勤務 安田 修平さん

江藤先生の強力なファシリテーションのもと、業界関係者から包括的な講義を受けることができました。講義ではより実践的な内容として、ビジネスモデリングを使った事業企画研修や、ゼミナールを通じた事業計画書の作成が特に印象的だった。また学内講義だけでなくフィールドワークもあり、特にFujitaya B&Bでの活動は、これまでのゲストハウスというイメージの「創造的破壊」を促してくれた。今後はこれら学んだことを自ホテルでの研修や人材開発という点で、ノウハウ共有やコーチング実践の場として活用していきたい。ホテルではつつい目の前の業務・課題のみに集中してしまうが、ツーリズム業界としてマクロな視点を持ちながら人材開発を進めたいと思う。

profile

大阪市内外資ホテルにて、ラーニング&デベロップメントマネージャーとして、ホテル内研修や人材開発を担当している。これまでホテル業界にて10年以上キャリアがあり、東京、大阪、インドネシア・バリ島、カンボジア・シェムリアップにて勤務経験がある。



ホテル単体ではなく、地域集客に意識を向け

ホテル勤務 佐溝 舞さん

長年ホテルの宿泊セールスに携わり、ホテルの宿泊客を増やすための施策を考えてきましたが、「そもそも神戸へ来る人を増やす必要がある」とホテル単体での集客ではなく、地域集客を意識するようになったタイミングに江藤先生のセミナーを拝聴し、絶対にこの講座を受けたい!と思い、申し込みました。

実際に受講し、スポーツや農業を通して集客活性化する方法など今まで触れたことのない世界をたくさん見ることができました。また、インターンシップでは神戸観光局様にお世話になり、市内観光施設へインバウンドの受入体制や集客方法等のヒアリング調査をさせていただきました。実際に観光されているお客様の動向を知ることができ参考になりました。

何よりも、様々な業種の方と知り合えたことが私の人生にとってとても刺激的な経験となりました。

将来的にもっと地域集客に直接的に携われる業界に転職したいと考えています。

profile

神戸市内のホテルに新卒で入社し15年。レストラン、フロント、ウエディング、経理部を経て、現在宿泊セールスのマネージャーとしてインバウンドセールス、旅行会社のプラン作成、OTA業務全般を担当しています。プライベートでは8歳と5歳の娘がおり、日々仕事と家庭の両立に奮闘中。



地元神戸で観光を学べる魅力

県庁勤務 廣仲 洋介さん

人口減少と東京圏一極集中を是正するために地方創生が進められており、観光が特に注目されています。今回、地元神戸で観光を体系的に学べるツーリズムプロデューサー養成講座があるということ申し込みました。本講座では、①eラーニングによる観光の基礎学習、②観光概論や観光マーケティングなどの専門学習、③就業実習、フィールドワークや実務家による講義、④ゼミでの観光事業プランの作成などの実務学習を120時間で学ぶことができます。知識の詰め込みだけではなく、新たな事業を展開するための知恵を得ることができ、理論と実務の架橋を図る講座でした。また、単に学ぶだけではなく、教授や実務家、受講生同士の人的ネットワークができたことにも意義があります。多様なバックボーンを受講生と意見交換をすることにより、今後も新たなアイデアが生まれることが期待できます。

profile

これまで教育行政に従事してきましたが、文化財行政を担当しているときに観光に興味を持ちました。教育と観光は一見関係ないようですが、児童生徒が地域の魅力を発見し、ふるさと意識を持つことで地元に残ること期待できます。今後は観光による地域振興を進めたいと考えています。

講師一覧 (敬称略、登壇順)



観光庁観光産業課参事官
田村 寿浩



神戸山手大学客員教授
江藤 誠晃



神戸山手大学教授
小野田 金司



神戸山手大学准教授
小槻 文洋



神戸山手大学客員教授
森山 正



神戸山手大学教授
小畑 力人



神戸山手大学教授
小磯 学



株式会社インブリージョン
畑中 綾



神戸山手大学准教授
高根沢 均



神戸山手大学教授
吉田 誠



神戸山手大学教授
西村 典芳



神戸山手大学講師
山下 紗矢佳



摂南大学准教授
田中 祥司



Airbnb Japan 株式会社
長田 英和



有限会社ワックジャパン
小川 美知



株式会社 Feel Japan
藤田 勝光



株式会社みなと銀行
川上 和也



株式会社みなと銀行
河田 健人



株式会社瀬戸内ブランド
コーポレーション
白井 孔耶



株式会社ビヨンド
道越 万由子



株式会社ちいおりアライ
アンス
井澤 一清



handy ジャパン株式会社
岩田 行雄



一般社団法人 山陰インバ
ウンド機構
福井 善朗



公益財団法人大阪観光局
吉本 昌史



一般財団法人神戸観光局
佐藤 敏亨

講師の声



profile

プロデューサーとして国内外各地の観光事業や地域活性化事業に携わり、同時に旅行作家として世界各国の観光地取材し数々のドキュメンタリーやコンテンツを発表。独自のマーケティングメソッドをベースに各種観光政策を立案。ツーリズムプロデューサー養成課程のチーフディレクターを務める。

広範な情報と知識をベースに事業構想を行えるツーリズムプロデューサーの養成を全国各地で行うことが観光立国実現の近道である。

江藤 誠晃 氏

神戸山手大学客員教授 株式会社 BUZZPORT 代表取締役・作家

業種や職域だけでなく世代や地域を超えて観光業に携わっている方と携わりたい方が一同に会するセミナー。観光中核人材の育成を目指す本事業のユニークさの最大要素がこの多様性の中にあった。観光市場そのものに広範な関係者間の連携が求められるように、6人1チームで事業構想を練り具体的なビジネスモデルを構築した受講者の作業は現場力を縮図として学ぶ貴重な機会だったと思われる。ツーリズムプロデューサーは観光を成長産業と位置付ける我が国に最も必要とされる人材でありながら、その定義やスキルは未だ不明確である。本プログラム修了者が各々の現場で実現する観光ビジネス成果の集積が観光立国の礎となることを願いたい。



profile

大学卒業後、(株) DENSO 入社、4年後退社し、45カ国、600日訪問。(株)島津製作所に入社し、3年間香港駐在。2014年にFUJITAYA Kyotoを開業。[TripAdvisor]にて1位を獲得。2017年にBike&YogaをコンセプトとしたFUJITAYA BnBをスタートし、開業3ヵ月後に[TripAdvisor]にて1位(B&B部門)を獲得。大学にて旅や起業の講義、サイクルツーリズム推進の提言など多方面で活動中。

ツーリズムプロデューサーに求められる現場力とは！?

藤田 勝光 氏

株式会社 Feel Japan 代表取締役社長

受講された皆様へ、専門学習、実務学習と多岐にわたるカリキュラムを、週末の貴重な時間を費やし、学んだことは、今後の大きな礎となると確信しています。「ゲストハウス運営のノウハウを学ぶ」にてフィールドワークを担当しました。私自身が世界旅行中、様々な宿泊施設に滞在し、各国からのゲストと楽しんだ経験をもとに、『アットホームな雰囲気の宿を創りたい!』という想いから、宿をはじめました。ゲストがどのような体験をし、スタッフがどのような想いで運営を行っているか!?実際の現場にて感じていただけたなら幸いです。今後、ツーリズムプロデューサーとして活躍するには、旅行者の立場でモノトを考える視点が重要です。自らも旅に出かけ、旅行者の立場に身を置くことも必要です。ぜひ、FUJITAYAにもゲストとして宿泊してみてください!お待ちしております!



profile

社団法人インバウンド連合会副幹事長やいばらき広報戦略アドバイザーも務める。新卒から10年以上WEBマーケティングに従事し、2015年より、インバウンドマーケティング事業を立上げ、自治体や大手企業の海外マーケティングの運営やインバウンド集客の150社以上のプロデュースに携わる。2016年9月に、インバウンドPRに特化した株式会社ビヨンドを設立し、代表取締役に就任。全国の自治体や企業向けに年間60回以上講演も行う。両親は長崎県五島列島の出身。

~SNSでの情報発信インターン(実地研修)を通して~
どんなコンテンツも日本にいながら世界に発信できる!

道越 万由子 氏

株式会社ビヨンド 代表取締役社長

今回、私の方では、「facebookを活用した情報発信」というテーマでの講義と、弊社で行なっているSNS情報発信、プロモーション運用代行のお仕事を体験、学んでいただく、インターン(実地研修)を担当させていただきました。今回は短い期間と限られた範囲での業務だったのですが、少しでもSNSの活用の仕方、情報発信のポイント、ターゲット広告の使い方や考え方、データの見方などの、基礎を理解いただき、自分たちの地域やビジネスに少しでも今後活かしていただけるきっかけや実践に繋がれば幸いです。今回インターンでは、自分の地元をfacebookを使って、国内・海外のユーザーに紹介・発信していただく。そしてターゲット広告も使って、自分でターゲットを決めて、そこにピンポイントで英語・日本語で発信していくという実践を重ねていただきました。記事やターゲットにより、効果が大きく変わること、少しでも実感いただけたかと思えます。これから個人でも企業でも、SNSを使って世界に情報発信ができる時代。是非世界に日本の魅力を発信していきましょう!

事業報告会 - 観光立国フォーラム in 神戸 2019-

2月12日(火)THE PLACE KOBEにて、事業報告会として観光立国フォーラム in 神戸 2019を開催し、約80名の方々が参加しました。第1部では主催者挨拶として観光人材政策室課長補佐(総括)の田口 壮一様よりお言葉をいただき、本プログラム受講生による新観光事業計画発表会を実施しました。また履修証明書の授与式を行い、120時間の全カリキュラムを履修し当日出席された12名に履修証明書を田口 壮一様より授与いたしました。

第2部では、佐藤敏亨氏(一般財団法人神戸観光局)、吉本昌史氏(公益財団法人大阪観光局)、福井善朗氏(一般社団法人山陰インバウンド推進機構)をゲストにお招きし、本カリキュラムのチーフディレクターである江藤誠晃をナビゲーターに「日本版DMOに求められる観光人材とは?」と題してパネルディスカッションを行いました。

プログラム

第1部(15:30-)

- ・主催者挨拶 田口 壮一(観光庁観光人材政策室課長補佐)
- ・神戸山手大学 ツーリズムプロデューサー養成課程 受講生による新観光事業計画発表
- ・総括 江藤誠晃(神戸山手大学客員教授)
- ・講評
- ・履修証明書授与式

第2部

- ・パネルディスカッション
「日本版DMOに求められる観光人材とは?」
ゲスト
佐藤敏亨氏(一般財団法人神戸観光局)
吉本昌史氏(公益財団法人大阪観光局)
福井善朗氏(一般社団法人山陰インバウンド推進機構)



ナビゲーター

江藤誠晃(神戸山手大学客員教授)

司会

小野田金司(神戸山手大学副学長)



第3部(18:30-)

- ・交流会



平成30年度(2018年度)神戸山手大学
職業実践力育成プログラム(Brush up Program for professional)
観光庁 平成30年度「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」

ツーリズムプロデューサー養成課程 事業報告書

発行日 2019年3月15日
発行 神戸山手大学現代社会学部観光文化学科
〒650-0006
兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号
TEL 078-341-1615 FAX 078-351-7172
監修 小野田 金司
編集 村井 一葉

※本誌の記事、写真、イラスト等の無断複製・転載を禁じます。